

第 14 回 杉並区バリアフリー推進連絡会 実施要旨

会議名称	第 14 回 杉並区バリアフリー推進連絡会
日 時	令和 2 年 11 月 6 日（金）午前 10 時 30 分～午前 11 時 30 分
場 所	勤労福祉会館・西荻地域区民センター
出席委員	出席 21 名（代理出席含む）、欠席 14 名 【関係団体等】 大原委員、西山委員、吉川委員、井上委員、内藤委員、石橋委員、佐藤委員 【鉄道】 村里委員 【バス】 與田委員、小川委員、奥田委員（代理）、丸山委員、三宅委員 【警視庁】 佐藤委員 【国土交通省】 遠藤委員 【東京都】 水沼委員（代理） 【杉並区】 有坂委員、白井委員、山川委員、塚田委員、伊藤委員
事務局	都市整備部管理課
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 杉並区バリアフリー推進連絡会委員名簿（令和 2 年 11 月 6 日現在） ・ 席次表 ・ 勤労福祉会館・西荻地域区民センター視察資料
実施次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会及び交代委員の紹介 2 会長あいさつ 3 勤労福祉会館・西荻地域区民センター見学 4 質疑応答 5 副会長からの講評 6 閉 会

<p>要 旨</p>	<p>1 開会及び交代委員の紹介</p> <p>○事務局 配布資料の確認と前回の連絡会から、異動等で交代された委員の紹介を行う。</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>○会長（都市整備部長） おはようございます。ただいまご紹介いただきました、都市整備部長の有坂でございます。本日は、お寒い中お集まりいただきありがとうございます。例年は、こうした寒い時期ではなく8月頃の暑い時期に開催しておりましたが、ご承知のとおり新型コロナウイルスの影響により延期させていただきました。新型コロナウイルスによって、各事業者におかれましてもさまざまな対応をされていると思います。また、関係者のみなさま等も多方面で精一杯新型コロナウイルスの拡大防止に取り組んでいられると思います。区としましても、保健所を中心に対応しているところでございます。こうした中で、連絡会を開催させていただき大変恐縮でございます。</p> <p>この新型コロナウイルスによって、バリアフリー推進の1つの契機である、東京オリンピック・パラリンピックも延期となっております。しかし、この契機を逃さずにさまざまなバリアフリーに関する施策を行っていき、前に進めていきたいと思っております。そのためにも、みなさま方とさまざまな情報共有を行っていき、しっかりとだれもが住みやすいまちや環境作りをしていきたいと思っておりますので、本日も忌憚のない情報交換を行い、よりよい会にしたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。</p> <p>併せまして大変恐縮ですが、この後の現地視察は、利用者の方もいらっしゃると思いますので、恐縮ではございますが、見学中はお静かに施設を回っていただきますようお願い申し上げます。またマスクの着用等のご協力もお願いいたします。以上、挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>○事務局 見学については、施設整備担当課長及び営繕課担当職員に引き継ぐ。</p> <p>3 勤労福祉会館・西荻地域区民センター見学</p> <p>○施設整備担当課長 政策経営部施設整備担当課長から勤労福祉会館・西荻地域区民センターについての概要と改修内容を説明した後、勤労福祉会館・西荻地域区民センターについて、バリアフリー関連の設備を案内。</p>
------------	---

4 質疑応答

○水沼委員（代理）

1点だけ、視覚障害者の誘導用ブロックについて質問です。道路では、輝度比の基準がありますが、屋内の場合は、何か基準等があるのでしょうか。見学の際に、誘導用ブロックがありましたが見えにくい場所もありました。

○施設整備担当課長

バリアフリー法及びバリアフリー条例に定められた基準はありませんが、その他のガイドライン等には、配慮するよう記載されています。今回につきましては、基本色として黄色として外溝に設置しております。頂いたご意見は今後の参考とさせていただきます。

屋内に関して、特段黄色の点字ブロックを設置しなければならないという基準はないと思われまます。点字ブロックを各入口の案内板あるいは受付まで案内するよう設置し、そこでさらにわからない場合は、人的介助を行う流れを想定しています。

○大原委員

整備義務ではない（望ましい基準）かもしれませんが、弱視の人等のことを考えて輝度比を考慮することは建築物のガイドラインでも推奨されています。デザイン等の関係もありますが、この建物についても気になったことがあります。階段の降り口に鉤だけが打ってありましたが比較的分かりにくいと思いました。カーペットの色を変更する等、もう少し配慮をしていただくと良いと思います。

○西山委員

だれでもトイレの音声案内が非常に良かったです。今までこれほど丁寧な音声案内に出会ったことが無かったので、とてもうれしく感じます。3階の各和室の入口に点字案内がなされていることは良いですが、ドアの取っ手が他の部屋と違い直角であるため指で触ると読みにくかったです。もう少し上に貼っていただくと読みやすいと思います。

また、案内板等にある点字の誤字脱字が多く見受けられます。よくあることですが、点字を理解していない業者等が担当するとそのような間違いが起こると思います。すべて点検を行った方が良いと思います。

○会長（都市整備部長）

頂いたご意見は、所管の方にしっかりと伝え至急点検して対策するよう申し伝えておきます。

○西山委員

根本的なことが分かっていないので、点検については、他の方が行った方が良いと思います。

○会長（都市整備部長）

広報部門で点字に関してお力添えいただいている関係もあるので、西山委員がおっしゃったように施工業者ではなく他の事業者に点検するよう所管に申し伝えていきます。

○大原委員

だれでもトイレに関しては、西山委員が評価しておられましたが、私はさまざまな利用者の意見を聞いている中で、もう少し考慮する必要があると思います。

視覚障害の方はだれでもトイレ内が広くどこに何があるか分かりにくい為、使いにくいという意見があります。そのためしっかりと音声案内がなされていけば問題なく使用できます。一方でだれでもトイレを使わなくても通常のトイレが使用しやすければ、むしろそちらの方を使用していただく方が良いと考えられます。それを行うためには、トイレゾーンの手前に音声案内設置し案内を行えるように対策することが必要です。触地図で全体の配置を示している点は良いと思います。だれでもトイレの中にはさまざまなものが設置されており、その説明を1から始めて音声で紹介してくれています。しかし、自分が1番欲しい情報が「水を流したい」場合であった時に、その情報が1番最後に案内される可能性もあるわけです。実際にこの建物のだれでもトイレの音声案内で、「詳しい案内は四角いボタンを押してください」と言っていました。実際にボタンを見てみると、四角いボタンがいくつかあり分かりにくかったです。逆に親切な案内が、間違いを引き起こしてしまうこともあります。トイレを設置する際、音声案内はトイレに付属しているものなので難しい面もありますが、そのようなものを1つひとつ解決していければと思います。

○吉川委員

だれでもトイレに、ユニバーサルベッドが3台設置されていてとてもうれしく思います。

気づいた点が2点あります。1点目は、3階の和室の入口にすべて

に段差がありました。特に舞台のある箇所が1番高く、車いすで和室に入ることは難しいと感じました。特に第1、2、3和室には下駄箱が設置されており、間口がかなり狭くなっておりました。そのため車いすのまま入ることは難しいと感じました。たぶん車いすの方でも和室を利用したい人はいらっしゃると思うので、その点は残念だと思いました。

2点目ですが、私は本日こちらの会場まで自転車を利用して来ました。青梅街道沿いにも入口があり、そちらが正式な入口だと思っていました。近くに駐輪場が見当たらず探してみると、地下に駐輪場らしきものがありましたので正しいか不安もありましたが、そちらに自転車を止めました。ですので、青梅街道沿いの入口にも駐輪場の案内標示を行った方が良いと思いました。

○保健福祉部管理課長

公共施設においてはどこの施設も該当すると思われませんが、一般のトイレには、衛生面上トイレの扉は付けない方がよろしいのではないのでしょうか。また、そのような検討はなされなかったのでしょうか。

○施設整備担当課長

扉の有無については、検討を行いました。コロナウイルスが流行する前の設計でしたが、スペースの関係と施設所管の要望から扉を設置することとなりました。

○事務局

どうもありがとうございました。また何か意見がございましたら事務局の方までご連絡をお願いいたします。それでは、今までのお話を踏まえまして、大原副会長から今回のご講評を頂戴できればと思います。よろしく申し上げます。

○大原委員

まず、ユニバーサルベッドが複数個所に設置されていて、とても良いと思いました。一方で、ベビーベッドがあまり見当たりませんでした。このような施設ですし、子ども連れの親御さんも訪れると思います。ですから、一般の男性女性トイレにもスペースがあったので、ベビーベッドを設置しても良いかと思います。子どものおむつ替え等でだれでもトイレのベッドを使用することになれば、利用する人が増えて常にだれでもトイレが使用されている状態となってしまう問題が生じてしまいます。現在、トイレにおいては機能分散型の考えがあり、すべてをだれでもトイレに集約してしまわないようにしています。利

用したい人が利用できない問題もあり、機能を分散するよう近年5～10年くらい前から反省でよく言われるようになっていました。必要な人が必要な時にすぐ利用できるような配慮が全体の計画の中で必要になると思います。また、車いす利用者の面で、駐車場が確保されておりスペースも広く確保されていましたが、使用する際には撤去すると思いますが自転車駐輪防止の三角コーンが立っていました。また駐車場には乗り降りスペースがあるのですが、そこからその先の入口までの経路に駐輪スペースがあり煩雑になっていて通行しにくいと感じました。つまり、スペースだけ確保するのではなく移動経路のことまで考えることが大切になります。

全体的には、改修ということでここまで整備されたことは大変素晴らしいと思います。とくにトイレなどは改修の際、スペースが限られていて難しいですが、上手く整備されていると感じました。施設内は色が統一されていて、ベースがしっかりとしていると思います。何か目立つ案内をされる際は壁が落ち着いた色であるので、案内がしやすいと思います。ホールは車いす利用者への配慮がされていましたが、今後利用する中で何か意見等が出てくるとと思います。また、そのような方たちに積極的に利用してもらうことも良いと思います。

先ほど、西山委員から点字案内や吉川委員からの駐輪場の案内等の指摘がありました。全体の案内やサインは、建物が出来上がったころでも確認や追加することは可能ですので、完成前にいろいろな方々にチェックをしてもらうことが必要だと思います。ぜひ今後も進めていってほしいと思います。

○事務局

大原副会長、ありがとうございました。

5 閉会

○事務局

事務局よりご連絡いたします。今回の連絡会の質疑応答等の議事要旨はまとめ次第、参加委員の方に案文を送付させていただきますので、ご確認いただきますようお願いいたします。

また、確定版の議事要旨につきましては、区ホームページで公表させていただきますのでご了承ください。また、現地連絡会の様子を収めた写真も掲載する場合もございますので、ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

年2回バリアフリー推進連絡会を開催してございますが、次回の連絡会は年明け1月ごろの開催を予定しております。内容としましては、各事業者さまのバリアフリーに関する取組状況などについて、意

見交換してまいりたいと考えております。委員の皆さまには、後日改めて日程調整のご連絡を差し上げますので、よろしくお願いいたします。

それでは、「第14回杉並区バリアフリー推進連絡会」はこれで閉会させていただきます。本日はお忙しい中、ご足労いただき誠にありがとうございました。